

流域対策 地下貯留施設の整備促進【内水対策】

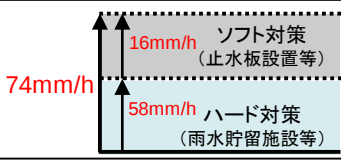
2021.11.25
経営管理課

○郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン 2014(平成26)年度～2022(令和4)年度

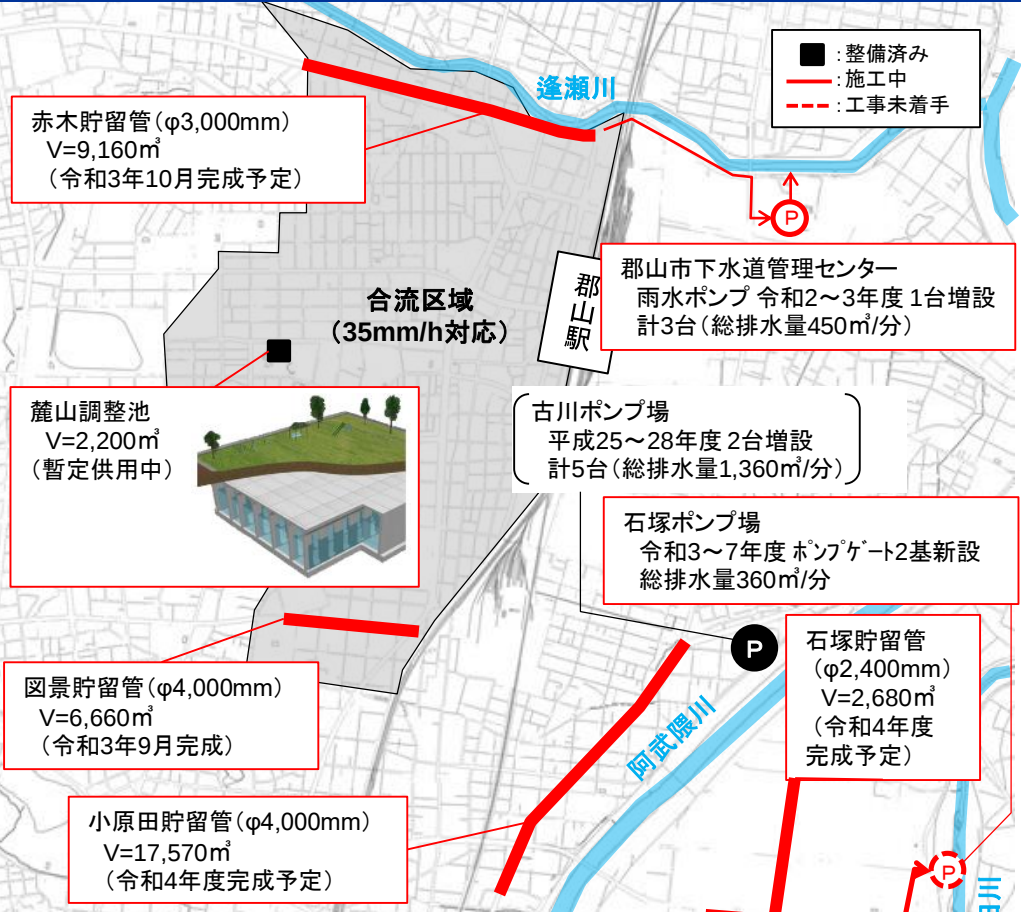
◆平成22年7月6日 ゲリラ豪雨発生
郡山駅周辺で1時間あたり74mm
被害状況: 床上浸水 62戸 床下浸水141戸



◆平成26年9月9日 国の「100mm/h安心プラン」登録
・河川事業(国・県・市)と下水道事業(市)が連携
・74mm/hの降雨に対し床上浸水を防ぐ

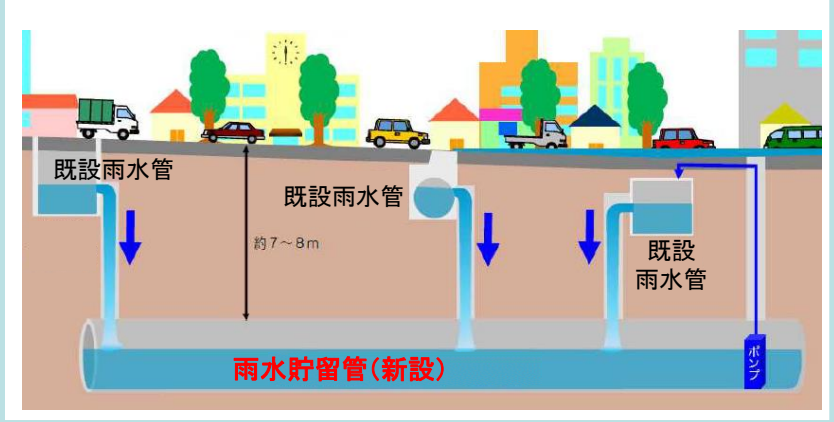


郡山市の下水道事業 貯留施設 (貯留量合計38,270m³) 令和3年8月現在



※雨水貯留施設本体についてのみ表示している。
※郡山中央工業団地内において、石塚樋門・ポンプゲートは、郡山市ゲリラ豪雨対策9年プランとは別に雨水対策整備(浸水対策)事業として整備を進めるもの。

雨水貯留管のイメージ



浸水対策の効果

